

グループ名	A	記録者	原田 百夏
研究テーマ	みんなが楽しむあいご会にするにはどうしたらよいか		
サブ テーマ	A	あいご会活動のプログラムをどう計画したらよいか	
	B	あいご会の楽しさをどう伝えたらよいか	
	C	あいご会役員としてどう関わったらよいか	

記 録

城南 あいごで伝統を守っている
大人が楽しむようにしている

玉江 単位17 桜行中2つ
先封にちの協ロ△

坂元 単位11 単位1は、7月人数(1名)
この後 PTA イベントに関して△

武 (20) センシ
資源回収
町内会コミュニティ(主)でやっている
子供の生きる力の育成を目的に
運営の中心に役入っている

吉田 単位10 コミュニティが行事を
運営していること(○)

① 教員のあいごへの理解

学校あいごコーディネーター ⇒ 新任が(多)
一緒に学びながら
2年目の元あいごコーディネーター
1年目 = サブ
あいご講座 → 校長

「親会体で子育てしよう」

あいごについて
勉強あることになる。
理解が深まる。

教員のあいごの理解を地域から促す

教育委員会から教員が色々な積極的に
関わってほしい (17)(17)

④ あいご役員ではない人の参加方法

- ・ 補助金
- ・ 子どもは入っているが保護者から来れない ⇒ 保険は入る

② 少ない単位あいご会は合同チームを作っている
来ない人でチームを作る(モック)
少年自然の家から講師を呼んで企画

③ 役員同士の連絡
・ LINEグループで連絡を取り合う
・ 学校
・ 単位あいごから広報
・ 参加届付

※ グループ協議を行ったサブテーマに○をつけてください。